

“『御郡内惣図』<sup>おぐんないそうず</sup> デジタル化”の巻

弘前大学附属図書館では、所蔵している貴重資料の中から、毎年 1 点をデジタル化し Web で公開しています。昨年度は 18 世紀後半のものと推定される津軽地方の地図『御郡内惣図』をデジタル化しました。いつもは附属図書館 3 階の貴重資料室で撮影が行われていますが、今回は大きな資料のため、専用機材のある写真スタジオでの撮影になりました。撮影に立ち会った職員が取材してきましたので、その舞台裏をご紹介します。



## ……………図書館を飛び出し盛岡へ……………

2019 年 12 月 9 日、岩手県盛岡市にある有限会社いわねスタジオ様にて、丸善雄松堂（株）様、(株)DNP コミュニケーションデザイン様のご協力のもと、デジタル化の撮影が行われました。天井の高い撮影室には、ストロボや真上から撮影することのできるアームがついた大型の専用機材、モニターやパソコンなどが設置されており、まさしく「スタジオ」です。

## ……………1 枚 1 枚、慎重に丁寧に……………

地図は縦 159cm×横 164cm と、畳でいうと約 2 畳分の大きさになります。これを広げた状態で真上から撮影するため、かなりおおがかりな撮影となりました。撮影を開始するとともに、一つ大きな問題点が出てきました。もともと紙製の封筒に折

りたたまれて入っていたため、その折目が強く、そのままでは部分的に折目による影ができてしまうことがわかりました。そこで、無反射ガラスを地図の上のせて完全にフラットにしてから撮影していくことになりました。和紙に描かれた地図は非常に繊細なため、資料を傷つけないようとても慎重に作業をしていただき、大きな地図をコマ割りしながらの撮影は、実に 4 時間に及びました。

## ……………地図上をドライブするかのごとく……………

この地図には現在も使われている津軽地方の地名が細かく記載されています。それらの地名まで詳細に確認できるよう、撮影された画像をモニターで確認するのですが、何度も繰り返し撮影・確認しているうちに津軽地方をドライブしているような気分にもなり、撮影を終えた頃には私を含め業者の方々まで、図らずも随分と津軽地方の地名に詳しくなったのでは、と思いました。

さて、完成した『御郡内惣図』は附属図書館ホームページで公開中です。弘前大学名誉教授の長谷川成一先生による詳細な解説とともに、和紙に描かれた古地図が高精細画像となって Web で見ることができます。鳥になったつもりで、近世の津軽の様子を空から回遊してみませんか？

デジタル版『御郡内惣図』は

こちらからどうぞ。

<http://www.ul.hirosaki-u.ac.jp/collection/rare/ogunnaisouzu/index.html>

